

認知行動療法の普及へ

党県議団 愛知県 大学病院で効果など聞く



認知行動療法の治療効果などについて聞く党愛知県議団ら

うつ病治療の一つとして注目されている認知行動療法の普及へ向けて、公明党愛知県議団はこのほど、名古屋市の市立大学病院(同

市瑞穂区)を訪ね、精神科の中野有美医師から、同療法の臨床上の効果などについて説明を受け理解を深める一方、意見を交わした。

これには、わたらい克明議員団長をはじめ、きとう俊郎同幹事長、米田展之同政策審議会長、きとう英一、小島たけゆき、桂俊弘、岩田隆喜の各県議と共に、いぬかい明佳・党県青年局長次長(県議選予定候補)が参加した。

この中で中野医師は、認知行動療法がうつ病の患者に対してどのような治療効果があったかについて述べ、特に症状を改善させる面からの効果研究では「薬剤と同等の効果がある」との結果が報告されていることを紹介した。引き続き、同医師は認知行動療法を応用した具体的な治療法について臨床上の事例

を分かりやすく説明し、法が広がっていくことに期待を寄せた。公明どの課題に積極的に取り組んでいきたい、と意欲を示していた。